

公表

児童発達支援における自己評価総括表

○事業所名	ひふみ北長野教室				
○保護者 評価実施期間	2025年10月1日		～		2025年 11月 30日
○保護者 評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)		6
○従業者 評価実施期間	2025年 10月 1日		～		2025年 11月 30日
○従業者 評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)		6
○事業所向け自己評価総括表作成日	2026年 1月 13日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動遊びを主軸とした療育の実施	・屋内での運動遊びに加え、地域の資源（公園や体育館等）を活用し、感覚統合の視点も入れ運動遊びを行っています。活動として、運動遊びだけでなく、リズム・音楽要素を入れた運動（リトミック）の実施や、微細運動を行う調理活動を入れ、多様な活動を運動活動としての目線で行っています。	・動きの多様化やお子さんの発達段階に応じた運動遊びの提供を行っています。また、より多様な経験が行えるように制作活動など活動内容を充実させていく。
2	・専門職（保育士）を配置しています	・専門的視点で、個別および集団支援を行うことができています。	・今後、さらに個々に応じた支援の充実が図れるように日課の工夫、活動プログラムの工夫を行っています
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との面談スペースが十分に確保できていない。	・事務室内に面談用のスペースを設け、移動式のパーティションで仕切る等の対応を行う。	・構造的な問題が大きいため、すぐには難しいが、現在の事務室内のレイアウトを変更するなどしていく。
2	・ほとんどの書類関係を、Excel、Wordといったツールを使い管理しているが、得意不得意があり、時には業務に支障きたすことがある。	・VBAやマクロを使用し、できるだけ簡単に書類作成や管理業務が行えるように工夫している。	業務効率化を図ると同時に、その時間を療育関係に充てていく。
3	・利用者が過ごすスペースやトイレなどの設備の狭さ・数の少なさ	・移動式のパーティションで仕切る等の対応を行う。	・構造的な問題が大きいため、すぐには難しいが、現在の運動スペースなどのレイアウトを変更するなどしていく。